



# あ さ の は

【基本理念】私たちは命と健康に向き合うことを医療の原点とします。

長岡赤十字病院

長岡市千秋 2 丁目 297-1

電話 0258-28-3600

ホームページアドレス

<http://www.nagaoka.jrc.or.jp/>

## 「やけど」について

皮膚科部長 **梅森 幸恵**

やけどとは、熱や薬品による皮膚・粘膜の障害のことであり、誰でも一度は経験したことのある日常にありふれた外傷のひとつです。

家庭でのやけどは熱湯や油、火災など温熱によるやけどがほとんどで、熱い飲み物やカップ麺、天ぷら油、ホットプレート、調理中の服への引火などが原因となります。小児の場合は炊飯器の水蒸気に手をかざす、ポットをひっくり返す、ファンヒーターの吹き出し口を触るなどして受傷することもあります。

しかし、やけどにはこれら高温のものだけでなく、ホットカーペットや湯たんぽ、使い捨てカイロに長時間あたっていたり、暖房便座にずっと座り続けることで起こる低温やけどもあります。低温やけどは見た目は軽症に見えますが、実は皮膚の深いところまでじっくりとダメージを受けているため、治療に長い時間を要したり手術が必要となる場合があります。その他、特殊なやけどとしては電流（落雷や高圧線など）による電撃傷や薬品（酸やアルカリ溶液など）による化学熱傷などがあります。

### 【応急処置】

まずはすぐに冷やしましょう。水道水で15～30分程度、流水で流してください。衣服は無理に脱がさずに、上から水をかけてください。近くに水道水が無い場合は水で濡らしたガーゼやタオルで覆う処置でもかまいません。氷やアイスノンを使う場合は直接皮膚に当てずタオルにくるむなどしましょう。また、広範囲のやけどを長時間冷やすと子供や高齢者では低体温を起す可能性もありますので注意が必要です。冷やしたあとは医療機関への受診をお勧めします。アロエや味噌、野菜を貼るといった民間療法はやけどを悪化させますので絶対に行わないでください。また、やけどをしたところが後々腫れてきますので、指輪などは早めにとっておいてください。

### 【やけどの深さと治療経過】

やけどの深さは大きくわけてⅠ度、Ⅱ度、Ⅲ度の3段階に分類されます。

〈Ⅰ度〉表皮（皮膚の表面だけ）のやけどなので、

赤くなってヒリヒリする程度です。日焼けはこのⅠ度熱傷に含まれます。とくに治療をしなくてもきずあとを残さずに数日で自然に治ります。炎症を抑える作用のある外用剤が有効です。

〈Ⅱ度〉真皮までのやけどで、水疱（水ぶくれ）ができ、痛みも強く深さによって2つに分けられます。

①浅達性Ⅱ度熱傷：適切な治療を行えば1～2週間で治り、瘢痕（きずあと）を残さないことが多いです。

②深達性Ⅱ度熱傷：適切な治療を行っても治るまでに3～4週間かかり、多くの場合は瘢痕や拘縮（ひきつれ）を起こします。

〈Ⅲ度〉皮下組織まで及ぶ深いやけどで、血管や神経もやられてしまうためやけどの部位が白や褐色、黒色となったり、痛みを感じなくなります。軟膏などでの保存治療では数ヶ月を要するため、多くは植皮術などの外科的な治療が必要となります。

応急処置後のやけどの治療は、やけどの部位をしっかり洗い、状態に応じた適切な外用剤を塗り皮膚にくっつかないガーゼで覆う、という湿潤療法が基本となります。最近は湿潤療法が可能なハイドロコロイド素材の絆創膏を使用される患者さんもいらっしゃいますが、やけどの状態によっては感染を起こしやけどを悪化させてしまう場合もありますので注意が必要です。軽症のやけど以外は一度医療機関を受診して診察を受けることをお勧めします。



# ふれあいまつりを開催しました！

地域みなさんに当院を知っていただくイベント『ふれあいまつり』を12月7日(土)に開催しました。

ミニ講演会をはじめ、院内見学ツアー、救急法講習会、キッズ献血など多数のコーナーを企画し、地域みなさんに参加いただきました。また会場には義援金箱を設置し多くの方よりご協力をいただきました。

寒い日でしたが、たくさんの笑顔に出会え、楽しい1日となりました。来年はもう少し早い時期に開催する予定です。

ご来場ありがとうございました！



NHK海外たすけあい募金にご協力いただきましてありがとうございました。



いただいた寄付は、紛争や自然災害・飢餓・病気などで苦しんでいる世界の人々を救う、日本赤十字社海外活動に役立てられます。

## イベント情報

開催時期	イベント内容	場所
3月28日(土)	市民公開講座 「がん治療における緩和ケア 最期まであなたらしく生きるために」	講堂
2月7日(金)、3月6日(金)、 4月3日(金)、5月8日(金)	がん患者サロン ほほえみサロン千秋 (フリートーク)	
4月25日(土)	やよい会共催 乳がん市民公開講座	

患者会からのお知らせ



詳しくは院内掲示のポスターまたは当院ホームページのお知らせをご覧ください。